

## 令和5年度 第9回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和6年3月18日（月） 18:00 ~ 19:05

【場 所】 望来コミュニティセンター 多目的ホール

【出席者】 10人（14人中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	岡山 拓	×
副会長	東 幸子	○	委員	平賀 敏和	×	委員	大内さつき	○
委員	小笠原英史	○	委員	今 光江	×	委員	石田 靖子	○
委員	小山 玲子	○	委員	森田 瞳	×	委員	角田 由希	○
委員	河合 保郎	○	委員	笹谷 清一	○	委員	欠員	

厚田支所 ～ 東支所長、吉田市民福祉課長（併 厚田生涯学習課長）

企画課（厚田浜益担当）～ 幸田課長、吉田主査、後藤主任

地域おこし協力隊 ～ 奥本隊員、竹林隊員

集落支援員 ～ 八木沼支援員

事務局（地域振興課）～ 渡部課長、近藤主査、中村主任

【傍聴者】 2名

【次第】 1. 開会

2. 会長挨拶

3. 情報交換会（リラックスタイム）

4. 協議事項

（1）地域の今後のあり方について

5. 報告事項

（1）集落支援員の活動報告について

6. その他

7. 閉会

## 1. 開会

## 2. 会長挨拶

渡邊会長より、委員の皆様へ本日参加いただいたお礼と、協議事項の中で忌憚のないご意見をお願いし挨拶に代えた。

## 3. 情報交換会（リラックスタイム）

小山委員、大内委員より「ウィンターレク」について、協力隊奥本隊員より「犬ぞりレース（参加者おもてなし企画）」について、それぞれ情報提供を行った。

## 4. 協議事項

### （1）地域の今後のあり方について

#### 【 渡邊会長 】

それでは、協議事項に入らせていただきます。

地域の今後のあり方について、事務局より説明をお願いいたします。

#### 【 事務局（近藤主査） 】

資料に基づき説明を行う。

#### 【 渡邊会長 】

はい、ありがとうございます。

アンケートにつきましては、前回説明があった内容から変更しておりますので、改めて説明がありました。アンケートについて質問等ございますでしょうか。

#### 【 大内委員 】

アンケート調査は住所のみでしたっけ。

#### 【 事務局（渡部課長） 】

アンケート調査は住所のみです。「厚田」を残すか残さないかの2択の質問でございます。

#### 【 大内委員 】

他のことも載せて欲しいとあってありましたよね。それはなしってということですね。

#### 【 事務局（渡部課長） 】

住所表示以外のこともアンケートをしてほしいというご意見ですよ。先ほど事務局から説明させていただきましたけども、地域協議会の機能や支所の機能については、大体皆様「残したほうがいいんじゃないか」というようなご意見を多数いただいていたかと思います。一方で住所表示については、皆様色々なご意見を聞かれたのかなと思っていますので、やはり意見が割れる住所表示については、しっかりと広く地域の方から意見をもらうべきと事務局では考えております。

ですので、地域協議会の機能と支所の機能については、概ね皆様のご意見としては、「残して欲しい」、「現状を維持してほしい」という意見だったと捉えていますので、その部分については事務局としては特段考えてございません。

【 大内委員 】

わかりました。

【 笹谷委員 】

アンケートは、中学生以上の住民という形ですが、様々な企業には聞かないでしょうか。

【 事務局（渡部課長） 】

厚田区に住所のある方のみと考えているところです。

【 笹谷委員 】

わかりました。それからアンケートのことじゃないんですが、望来のその他の質問に地域協議会の役割で、「市からの問いかけに答えること」ってありますよね。今は地域協議会があるから市の方から「これを検討してくれ」という事項がありますが、これが自治区がなくなった後、同じような組織ができた場合でも、そういったことが市から来るのかどうか。

【 事務局（渡部課長） 】

新たな組織にそういった機能・役割を残すのであれば市から来ると思います。

逆に、その機能をなくすということであれば来ないということになります。現在は協議会は諮問機関になっていますので、今回の3点について諮問が来ております。

【 笹谷委員 】

その諮問されることがなくなるということもありえるということなんですね。

「厚田で決めてほしい」ということが、市からの要請がなくなるってことがあるのであれば、その地域協議会の意味もだいぶなくなってしまうなどというのがあって、そういう存在として石狩市が認めるのであれば、地域協議会は残すべきだと思うし、そこがちょっと大事になってくるかなっていうのはすごく感じます。

【 事務局（渡部課長） 】

説明会に来られた方も多分そのような思いで意見を言われていたのかなと思っていますので、その辺を地域協議会の皆様方で、しっかりと答申をまとめて届けられるようにしていただけたらと思っていますので、よろしく願いいたします。

【 渡邊会長 】

過疎計画ですとかありますから、どういう形になるかわかりませんが、厚田区には何らかの形が必要なんじゃないかと思います。市としても必要なんじゃないかと思うんですが、その辺企画課長どんな感じでしょうかね。

【 企画課（幸田課長） 】

渡部課長からもあったように、説明会での住民の方の意見を踏まえて、協議会でこれから答申を作成していただけると思うのですが、その中に「こうゆう機能は残すべきだ」と、「それが地域協議会の存在意義だと思う」というような答申をいただければ、市の方としてはそれを尊重できるように、機能を残す方向で案を作成していきたいと思っています。

それから、諮問・答申に限らず、渡邊会長の仰った、今持っている機能の大事なものとして、過疎計画に関す

ること、地域振興基金の使い道に関すること、それから、合併特例債の使い道にも関係しますが、新市建設計画の合併まちづくりプランですね、この三つが重要事項として協議会に与えられている権限でございます。その内、合併まちづくりプランは、地域自治区と一緒に期限を迎えてしまいますので、その機能は必要なくなると思いません。

ただ、渡邊会長の仰ったように、過疎計画の内容を変更するときには協議会の意見を聞くことだとか、地域振興基金の使い道は協議会で議論して決めることだとか、そういった機能も含めて残すように答申をしていただければ、それに沿うように検討していきたいと思うので、それも踏まえてご検討お願いいたします。

【 笹谷委員 】

地域協議会の機能になるかどうかかわからないですけど、今いる集落支援員とか地域おこし協力隊、例えばこれを増員するとか、こういう議論も全部ここでやってきたじゃないですか。そういう集落支援員や地域おこし協力隊の増減とかそういうのは、区がなくなったときに市の管轄になってしまうのか、市から依頼があるものなのかかわからないですが、どういう形になるのか、そこをもう少し知りたいと思いました。

【 事務局（渡部課長） 】

厚田での今までの検討の機会は、協議会が主になりまして、集落支援員や地域おこし協力隊の導入に向けて検討しているということで、もし機能を残すことになればそのままなのでしょうけど、なくなった場合については、例えば支所機能の中でその関係業務を持つのか、または本庁の厚田浜益担当がその業務を持つのか。その場合、協議会はないけれども、別な検討委員会を立ち上げてやっていくのか、色々なパターンが考えられますので、協議会がなくなったからといって、地域の声を聞かないでやるということはないと思っています。

【 笹谷委員 】

そうしたら、「厚田で何人欲しい」とかって、今後区がなくなっても検討することは可能なんですよ。

【 事務局（渡部課長） 】

そのように思っております。

【 小山委員 】

アンケートの集計ができましたら、これは住民の方たちへの周知はどういう形でというのは、協議会で決めてやることになりますか。

【 事務局（渡部課長） 】

まだ企画課と浜益区含めてしっかりと打合せできてないんですが、何らかの形で広く結果を周知すべきと考えております。浜益も同じアンケートをやりますので、回覧になるのかどのような方法になるのかわかりませんが検討していきたいと思えます。

【 小笠原委員 】

住所表示のことについて、ちょっと確認したかったんですけど、「厚田」を入れるか入れないかということですが、それはルールとして二択が決まりなのか、それとも取り決めなのか、その辺りの説明をしていただきたいと思えます。

【事務局（渡部課長）】

市としての取り決めで二択としているところです。

【小笠原委員】

わかりました。皆さんそれぞれ各団体から来ていると思いますので、「どうなのよ」と聞かれたときに、やっぱり答えられないのもちょっと嫌だなと思ったんで、市の方針として二択だということでわかりました。

【鎌田委員】

アンケートは町内会に依頼するというような話を聞きましたが、町内会単位でまとめて市の方に報告という形になるのでしょうか。

【事務局（渡部課長）】

実はアンケートの手法を変更させていただきました。当初は町内会に依頼してと考えておりましたが、町内会に入られていない方がいらっしゃるという地域が結構ございますので、そういったところを含めて広く周知ができないということもありましたので、今回のやり方としては、協議会は区内の住所情報を持っていませんので、協議会から市に依頼をして、市が厚田区内に住所を有している世帯にアンケート調査を送るような形になります。

各世帯に対象者分の個票が入った封筒が送られてきますので、そちらに記入して返してもらい形になります。あくまでも市が直接世帯に送って、直接回答するような形になります。

【鎌田委員】

わかりました。ではアンケートを送る封筒の中にアンケートの説明があるってことですね。

【事務局（渡部課長）】

今現在検討中ではございますが、個票の他に今回のアンケートについての説明文を1枚つける予定です。

今回中学生以上が対象になりますので、中学生でもわかるような説明文になるべくできるようには検討してまいりたいと思っておりますので。

【鎌田委員】

高齢者の方は結構封筒きても見ないとか、見てもわからないとか多々あるかと思うんですね。例えば極端な話、回答率が50%以下とかであっても有効ということになるんですね。

【事務局（渡部課長）】

集計結果については、市役所でまとめたものを地域協議会にいただけることとなっておりますので、その結果を基に協議会の中で判断し、答申する形になると思います。回答率が低かったら、それが成立するかしらないかということだと思っておりますが、基本的には成立すると思っております。

【小笠原委員】

ちょっと変なこと思いついたんですが、1世帯に何枚ということを知ったときに、例えばそのアンケート用紙をコピーして強烈な枚数を集めたりとか、そういう悪いことをする人が出たりしないような対策は何かしらするのかなど思いついたもので。

【事務局（渡部課長）】

管理できるように個票に番号振ってと考えていますので大丈夫かと思っています。

【渡邊会長】

それでは、アンケートにつきましては市の方に依頼するということによろしいですね。

なお、諮問のあった3項目のうち、住所表示に関することについては、アンケートの集計結果が出てから改めて協議を行うこととさせていただきます。

先ほど「回収率が少なかったらどうなんだ」という意見もありましたが、選挙でもすごく投票率が低い場合がありますが、それでも当選しちゃいますしね、仕方がないのかなと思いつつもね。なるべく多くの方にアンケートにはご回答いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、地域住民説明会についてですが、説明会の開催結果につきまして、何か質問・意見はありますでしょうか。

特になければ、ここからは答申に向けた協議をさせていただきます。

本日は、諮問のあった項目のうち、地域協議会機能と支所機能について、説明会で出された意見を聴いてどのような内容で答申を行うかを協議したいと思います。はじめに、「現在地域協議会が担っている機能・役割について」です。このことについて、皆さんの意見をお聴かせください。

先ほど皆様からも色々のご意見があったところですが、改めて何かありますでしょうか。

【笹谷委員】

2年後、こういった組織が成立したとして、その成立したものを見直す期間というものをどんどん定めていかなきゃならないと思うんですが、そういったものは明確に見えているものは何かあるんでしょうか。

2年後に決まったものがそのまま永続的に続くのか、人口の状況など色々条件も変わってくるかと思しますので、段階的に見直す期間を設けるのか設けないのか。

【事務局（渡部課長）】

もしそういった機能が必要であれば、それに向けての条例整備が必要になってくるかと思えます。先ほど話題にありました。審議会的機能を持たせるのか持たせないのか、そういうのを全て含めて必要な条例整備を行い、新たなものを整理する方向で考えているところです。

【渡邊会長】

今のところの地域協議会における方向性としましては、地域協議会機能については、地域の声を市に届ける仕組みは必要だと考えております。ただ、残すべきなんだけど、どういう形で残すのかということについては、これから皆さんとご議論していきたいと思っています。

それでは、「今後の支所の機能・役割について」、皆さんの意見をお聴かせください。

【鎌田委員】

私、望来と厚田の会場の意見しか聞いてないのですが、支所機能については、現状維持といいますか、今から1mmも下げるなというか、そういう気持ち、期待に尽きるのではないかなと感じました。

【渡邊会長】

そうですね、方向性としては、現在の生活の質が下がることのないよう現状維持ということを考えております。

【 小笠原委員 】

「残せるのであれば残したい」という意見しかないと思うんです。

自分も農協から推薦を受けてこの場に来ているということもありまして、農協の話をさせてもらおうと、かつてAコープですとか、厚田にもガソリンスタンドもありましたし、そういうのも残したほうがいいのは当然わかっているんだけど、閉じてきたという経緯もあるんですよ。

こういう話をしたときに、やはり残すことについてのリスクみたいのも当然あるはずだと思うのですが、それを全く知らないまま「残す方がいい」と。それはまったくそのとおりなんだけど、やっぱりそういったことも知っておいたほうがいいのかと、自分自身もそれは残せるものなら残した方がいいと思っているんですけども、そこら辺を踏まえたいなということとは知っておきたいなと思いました。

【 渡邊会長 】

そういうリスクみたいなものってあるんでしょうか。

【 事務局（渡部課長） 】

そこは市役所側が考えることだと思いますが、まずは地域協議会として、地域の声を住民説明会で聞いてきていただいておりますので、そこをしっかりと市に届けていただくということが、まず協議会としての役目なのかなと思っております。それを受けて、市役所がどのような体制とするのかだと思います。残すことのリスクはないと思っています。

【 渡邊会長 】

支所の体制が減ってしまうと、災害対策ですとか不利益になってしまうんでないかなと思ってしまいますが。

【 小山委員 】

支所機能というのは、保健センターの方も含んでの支所機能ということでよろしいですよ。高齢者が増えておりますので、保健センターの方も是非現状維持で残していただければと思います。

それから地名のことなんですけど、昔聞いた話なんですけど、戸田墓園の中にある「厚田亭」に「厚田」と書いたお土産がたくさんあるそうなんです。お墓参りに来た方がたくさん買って帰るそうで、やっぱり全国的な名前なんで「厚田」という地名は残してほしいなと思います。

【 渡邊会長 】

戸田墓園には全国各地からいらっしゃってますからね。私も東京で「厚田ですか」って言われたことがありますし、そういうことも考慮していかなきゃとも思いますし。ただね、アンケート結果しだいですから何とも言えませんが、私自身もそういう考えでおります。

【 大内委員 】

支所機能なんですけど、私は出張所でもいいのかなと思います。何人置かかってというのは、市の考えだとは思いますが、何かあっても来れない距離ではないのかなと思います。

【 渡邊会長 】

それはまた今後、皆さんと6月の答申までお時間ありますので、色々と話し合っていきたいと思います。

【 笹谷委員 】

住所は、厚田と浜益で地域名を残すか残さないかで統一するんだと思うんですが、支所については、どちらかが支所でどちらかが出張所なんていうことはあり得るんでしょうか。

【 企画課（幸田課長） 】

あり得るかどうかで申し上げますと、あり得ることだとは思いますが、まずは厚田区と浜益区からの答申をいただいて、おそらくですが、やはり現状を維持してほしいというご要望が住民からは上がってくるのかなと思っておりますので、それを踏まえまして、石狩市の中で組織を検討している職員課というところがありまして、「こういう答申をもらいました、8年度以降の組織について検討してください」とお願ひします。そうしたら職員課では、住民の生活の質が低下しないような、サービスの質ができるだけ低下しないような組織案を作ってくれると思います。

そういうことが7月以降は始まっていくと、それが具体的な検討というところなのですが、その中でももしかしたらどのような形になるのか。例えば、これは全く何も決まっていますが、厚田は石狩に近いので出張所で、浜益は遠いから支所でという案ができたとして、それを地域協議会に相談して、「いやいや、こちら支所でないで困る」というようなやりとりをしていくことになると思います。

いずれにしても可能性としてはありますが、今の時点では全く決まっていますので、まずは住民の皆様のお気持ちをお聞かせいただいて、それを受けてお示ししていきたいと思ひます。

それから、先ほど小笠原さんが仰っていた「残すリスク」というものについて、農協では残念ながら廃止しなければならない決断があった。農協では、費用対効果などが大きな理由だったのだと思ひますが、行政につきましても費用対効果という考え方が当然ございます。市民からいただいた税金で私たち運営しておりますので、無駄遣いは絶対できないというように費用対効果という考え方は、民間企業と同じで持っていますが、やはり行政というのは、住民サービスということもあって、一概に民間企業と同じ判断基準で動いているわけではありませぬので、「残すリスク」もあるのではないかということにつきましては、渡邊会長も先ほど言っていました、本当に難しい問題でして、民間でいう費用対効果の考え方がないわけでありませぬが、それだけで判断すると住民サービスの低下につながったりもするでしょうし、例えばサービスの低下をしないように、色々なDXなどITを使った機械化をして人を削ったとしてもサービスの質は低下させないだとかですね、費用対効果を見ながら、少ないお金で効果的なサービスが提供できるような形があれば、それを選んでいきたいという考えはありませぬ。

いずれにしても、まず答申をいただいて、こちらからお示しして、また皆様と一緒に具体的な組織について検討してまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。

地域協議会機能と支所機能については、本日の内容をまとめておきます。住所表示については、5月ですか、アンケートの集計結果が出ましたら本日と同じように協議を行います。その後、諮問項目についての協議内容を整理し、答申案として協議会に提案したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

5. 報告事項

(1) 集落支援員の活動報告について

【 渡邊会長 】

続きまして、報告事項に入らせていただきます。集落支援員の活動報告についてお願ひいたします。



#### 【 八木沼支援員 】

集落支援員としての活動についてですが、私、暫く諸事情で欠席させていただいて、なかなかご報告できていない分も含めて今日報告させていただきます。

昨年9月にあつクラ大作戦の会議を開催して以降、実はまだ1回も会議が開かれておりません。では、何をしていたかという、石狩市のファミリーサポートセンターという活動のサポーターの資格、要はお子様をお預りできますよという資格を去年の7月に取得しております。そして8月以降稼働しているのですが、延べで6回、お子さんを預かってほしいという依頼がありまして、依頼をいただいた方のお宅にお邪魔して、何時間かお預かりをするということをしていました。来週も実は1件予定が入っていたりするのですが、今まで厚田についての依頼がサポートセンターにあった場合、サポートセンターの本部の方で「行ける人がいないからお断りしていた」ということがあったのが、私がいることで、「それらを拾えています」というところは、本部の方にも言っていたとおりで、それが約半年ぐらいでの6回という回数なのかなと思います。それが活動報告一つ目です。

もう一つご報告として、去年の12月から年明けにかけて各家庭を回らせていただいたのですが、お子様がいる家庭の子育てのアンケートについてです。前回の9月のあつクラ大作戦の中で、今の厚田にいる子どもたちの置かれている現状、どういう状況で子どもたちが普段過ごしているのか、何をして遊んでいるのか、その辺を調査してはどうだということになりまして、その流れを受けまして、幼児から中学生ぐらいを対象としてアンケートを行いました。年明けでアンケートが全部終わりました。終わったものを集計をいたしまして、次回の4月の協議会では、皆さんにアンケート結果をお渡しできるような段階までは今来ております。

更にご報告なんですが、昨年厚田にインターンの学生さん3名が1ヶ月ほど夏場に滞在しておりました。その繋がりから札幌市の大学に通っている学生の子が一人、私の活動にすごく興味を持ってきて、自分の学校の研究としても厚田の活動とか私の活動を少し手伝わせて欲しいというようなお話をいただき、アンケート結果をまとめる際に手伝っていただいております。

彼女も地域を作ったりですとか、人と人のいる場所とか、もしくはデザイン面を専攻して勉強をしている学生でして、その彼女がアンケート結果をまとめる際に、かなり手伝ってくださいましたので、次回あつクラ大作戦を行う際にも、彼女にも出席をさせていただいて、結果を皆さんにご報告をできたらなと思っています。以上、そのような形で私の活動報告とさせていただきます。

#### 【 事務局（渡部課長） 】

私の方から少し補足的なことをよろしいでしょうか。

ただ今集落支援員の八木沼の方から活動報告をさせていただきました。その中で、一応対象が中学生以下の子育て世帯ということを中心にやっていたのですが、その際に高校生や大学生のお姉ちゃんお兄ちゃんがいる親御さんもいましたので、その場合は併せてアンケートを聞きとっています。

と言いますのも、前回の地域協議会の中で、小笠原委員から高校生の話題が提供がございました。その件につきまして、今、来月までにはしっかりと集落支援員の方でアンケート調査をまとめて報告できる予定になっていますので、その話題と合わせて協議会の中で、また、あつクラ大作戦の中で少しでも検討していければと、事務局で今考えてるところですので報告まででございます。よろしく申し上げます。

#### 【 渡邊会長 】

はい、ただ今の報告の中で何か確認しておきたいことなどございますでしょうか。

6. その他

(1) 次回日程について

4月24日(水) 18時～ 厚田総合センター

7. 閉会

19時05分 閉会

令和6年4月10日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 渡邊教円